

定期（工事）監査指摘事項

所管組織	まちづくり推進部 中野駅周辺まちづくり課	団体名
指摘の内容	<p>・不適正な変更契約を行っていたもの</p> <p>中野駅新北口駅前広場追加基本設計及び関係機関協議支援業務委託は、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の開催等が想定される中、企画提案公募型事業者選定により事業者を選定し、履行期限を令和4年3月15日として、令和3年6月10日に契約締結をしていた。この第1回の変更契約は、同大会の開催等による警視庁の業務過多、人事異動により、予定した協議を開始できない状況が続いたことを理由に、当初工期内に業務完了が見込めないとして、履行期限間際の令和4年3月9日に年度を超えた同年9月30日を履行期限とする変更契約を締結していた。このことについては、不適正な変更契約であるとして契約課が所管を指導していた。</p> <p>しかし、所管は警視庁協議が停滞していることやこれに関連して他の関係機関との協議についても同様に完了ができない状態であることから、令和4年9月29日に履行期限を令和5年1月31日に再延長する第2回の変更契約を締結していた。</p> <p>中野区契約事務規則では「総務部長等が契約締結の手續に通常必要とする期間及び契約履行期限を勘案して、その時期を失することのないようにしなければならない。」とされており、第1回の変更契約時に契約課から指導を受けていたにもかかわらず、再度履行期限を履行期限間際に延長したこと。また、警視庁等との協議状況の把握をせず、その後の見通しも不十分であったため、当初契約で9か月とした履行期間を第1回の変更契約と併せ10か月も延長したことは、不適正な事務処理である。</p>	
原因・理由	<p>第1回の変更契約は年度を超えた変更契約となることから、内部事務手続きに長時間を要し、履行期限直前の変更となった。第2回の変更契約は第1回の変更後に警視庁から地区一体協議の要請や下水道局の一部変更に伴う協議やり直しに加え、委託業者への進捗管理が十分でなかったため、進捗状況の把握が遅くなり、変更契約が直前となった。</p> <p>また、第1回と第2回の変更契約で併せて10ヶ月延長したのは、難易度が高い協議・調整が華々しているなかで、監督職員が協議・調整に要する時間の認識が不足していたこと、区が各関係機関と連絡調整を行い、委託先を指導することが十分に出来ていなかったこと、警視庁協議に時間を要したことや警視庁からの地区一体協議の要請、下水道局の一部変更に伴う協議のやり直しが生じたことなどが原因である。</p>	
講じた措置の内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・工事監査指摘事項の部課長会やチームミーティングでの情報共有</li> <li>・委託業者の進捗管理把握の徹底</li> <li>・課内で複数進行中の警視庁協議状況を把握するため、中野駅周辺まちづくり課の警視庁協議担当を指名し、一元管理</li> <li>・進捗管理を徹底するため、スケジュールと課題リストを共有</li> <li>・委託の正しい履行期限の設定や進捗管理、関係機関協議の対外調整の実施方法のチームミーティングを活用して共有</li> <li>・庁内でのチームミーティングに加えて、委託先との定例会議のなかで課題リストを活用して進捗管理を行う</li> </ul>	

令和5年度の各種監査結果報告に付した意見に対する取組状況

定期（工事）監査

1	<p>中野駅周辺まちづくり全体の統制を適切に行われたい</p> <p>中野駅周辺まちづくり事業は、市街地再開発事業（中野四丁目西地区、中野四丁目新北口駅前地区、囲町西地区、囲町東地区、中野二丁目地区）、土地区画整理事業（中野四丁目新北口駅前、中野三丁目、中野二丁目）、街路事業（新北口駅前広場、中野駅西側南北通路・橋上駅舎等）や中野区新庁舎整備事業の11事業が並行して進められている。</p> <p>今回監査において指摘した中野駅新北口駅前広場追加基本設計及び関係機関協議支援業務委託は、業務の進行管理が不十分だったため、不適正な変更契約を繰り返し行っていたものである。このような一部の事業の遅れは全体の遅延を招きかねない。区がこれまでに経験したことのない多くの事業が一体となって行われる中野駅周辺のまちづくりを遅滞なく着実に進めるためには、関係機関との協議などを密接に行い、各事業の進捗状況を把握し広い視野に立って調整を図ることが重要である。所管は情報の共有や連携を図るとともに各事業の進捗状況を的確に把握し、必要に応じて外部専門家の力を借りるなど、中野駅周辺まちづくり全体の統制を適切に行われたい。</p> <p style="text-align: right;">回答：区長</p>
取組状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・複数進行中の警視庁協議状況を把握するため、所管（中野駅周辺まちづくり課）の警視庁協議担当を指名し、一元管理することとした。</li> <li>・進捗管理を徹底するため、スケジュールと課題リストを共有する。</li> <li>・委託の正しい履行期限の設定や進捗管理、関係機関協議の対外調整の実施方法などは庁内チームミーティングを活用して共有する。</li> <li>・委託先との定例会議のなかで課題リストを活用して進捗管理を行う。</li> </ul>